

平成 20 年 4 月 10 日
沖縄電力株式会社

電気自動車に関する三菱自動車との共同研究について

当社は、本日、三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）と電気自動車の普及促進に向けた共同研究の開始にあたり、三菱自動車から電気自動車「i MiEV（アイミーブ）」の引渡しを受けます。

今回の共同研究は、沖縄県内で電気自動車「i MiEV（アイミーブ）」の実証走行試験により、亜熱帯地域における電気自動車の総合的な性能を確認し、電気自動車技術の向上につなげるもので、当社は実証走行の実施・データの収集や実用性の評価、三菱自動車は車両の供給や実証走行データの分析を担当いたします。

当社は、今回の実証走行試験を通じて、様々なデータやノウハウを蓄積し、地球環境の負荷を低減する電気自動車の普及に取り組んで参ります。

【研究概要】

1. 期間：平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月
2. 内容

「i MiEV（アイミーブ）」の実車を使用した、酷暑地域（沖縄）における長時間の走行試験（1 年間で約 50,000 km の試験走行）により、電池劣化・専用部品の耐久・耐腐食性能などを確認し、電気自動車技術の向上につなげる。

3. 車両台数
沖縄電力本店（浦添市牧港）に 2 台配備



添付資料：三菱自動車製電気自動車「i MiEV」の特長・主要諸元

以上

○三菱自動車製電気自動車「i MiEV」(実証走行試験車)の特長

- ① 大容量リチウムイオン電池を使用し、長い航続距離を実現
安全性や信頼性が高く、エネルギー密度の高いリチウムイオン電池を採用しており、一充電で160km走行可能(10・15モード)。
- ② 温室効果ガス排出量の削減が可能
走行時のCO₂の排出ゼロで、発電時のCO₂排出量を含めても、同クラスのガソリン車の3割となる。
- ③ ガソリン車と比べて走行費用が低価格
ガソリン代に比べ安価な電力を利用するため、同じ距離を走行するための電気代は、昼間電力なら1/3、夜間電力なら1/9になる。
- ④ 力強くキビキビした走り
低速から高いトルクを発生する小型・高性能モーター(永久磁石式同期型モーター)により660ccのターボ付きガソリン車を上回る軽快な走りを実現。最高速度は130km/hに達する。
- ⑤ 走行音が小さい
エンジンのような上下振動を伴わない電気モーターによって、極めて静かに走行することが可能。
- ⑥ どこでも充電可能
車載の充電器を使って、家庭の100V(約14時間充電)あるいは200V(約7時間充電)のどちらの電源でも充電可能。急速充電器を使えば約30分で80%充電可能。

○「i MiEV」実証走行試験車 主要諸元(提供：三菱自動車)

ベース車	『i(アイ)』	
全長×全幅×全高	3395×1475×1600mm	
車両重量	1080kg	
乗員	4名	
最高速度	130km/h	
一充電走行距離(10・15モード)	160km	
充電時間	200V・15A(車載充電器：家庭充電)	約7時間(フル充電)
	100V・15A(//)	約14時間(フル充電)
	3相200V・50kW(急速充電器)	約30分(80%充電)
モーター	種類	永久磁石式同期モーター
	最高出力	47kW
	最大トルク	180N・m
	最高回転数	8500rpm
電池	種類	リチウムイオン
	総電圧	330V
	総電力量	16kWh
制御方式	インバーター制御	
駆動方式	後輪駆動	